学生生活実態調査報告書

2023 年度版

2024 年 3 月

仙台白百合女子大学

学生委員会

目次

はじめに……1
Ⅰ　調査の概要……1
Ⅱ　結果と考察……2
　1．基本項目……2
　　1）回答率と回答者の内訳……2
　　2）入試の選抜方法……3
　　3）居住形態……3
　　4）通学形態……4
　　5）学食の利用頻度……5
　2．経済状況……6
　　1）学費……6
　　2）奨学金……6
　3．大学生活……8
　　1）大学生活の満足度……8
　　2）授業や自宅学習の時間……8
　　3）授業時間外の居場所……10
　　4）大学内外の活動……10
　4．ハラスメント（いやがらせ）……23
　5．卒業後の進路……26
　6．学内施設・部署等への要望……28
　　1）教育環境や大学生活……28
　　2）施設・サービス……29
　　3）教員の学生対応……29
　　4）事務局の学生対応……30
　　5）大学生活の中で大切なこと……30
おわりに……32

はじめに

「学生生活実態調査報告書 2023 年度版」は、本学学生の生活状況を把握し、今後の大学生活をより充実したものにするための支援策を検討する基礎資料とするものである。本学では、2014 年度に第 1 回目、2019 年度に第 2 回目が実施され、2022 年度の第 3 回目から毎年度実施することとし、今回の第 4 回目は、2023 年 1 月から 2 月にかけて、在籍数 795 名にアンケート調査を依頼し 397 名から回答を得た（回収率 49.9%）。

本報告書には、居住形態、通学形態、学食の利用頻度、経済状況、学習時間、大学内外の活動、進路、ハラスメント、教職員、学内施設や部署に関するアンケートの分析結果が記されている。学生の声と現状をまとめた本報告書が、よりよい学生生活を支援するために、大学各部署で活用されることを期待するものである。

Ⅰ　調査の概要

1．調 査 目 的	仙台白百合女子大学における学生の生活状況を調べ、大学生活をより充実したものにするため支援策を検討するための基礎資料とする。
2．調 査 方 法	調査の実施にあたっては、一斉メールで回答の協力を求めた。 メールに記載の URL から Google フォームにて回答してもらう形で、Web によるアンケート調査を実施した。 なお、倫理的配慮として、調査は無記名で行い、回答結果は数値化して個人を特定しないこと、目的以外に使用しないことを説明したうえで、実施している。
3．調 査 期 間	2024 年 1 月 9 日（火）～2 月 29 日（木）
4．調 査 対 象	仙台白百合女子大学の在籍生（数 795 名）
5．有効回答数	397 名（回答率 49.9%）
6．注 意 事 項	１）本報告書では、項目ごとにアンケートの集計結果とグラフを掲載した。 ２）自由記述（3-2、6-4、6-6、6-8）については、本報告書には掲載しない。

Ⅱ　結果と考察

1．基本項目

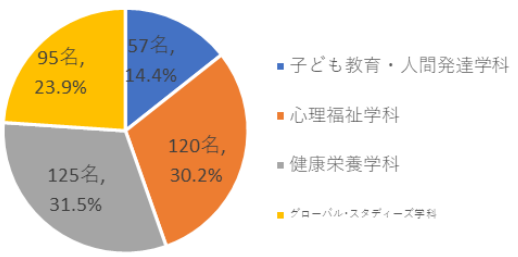
1）回答率と回答者の内訳

今回の回答率は 49.9%で、2022 年度の回答率の 56.0%を下回る結果となった。学科別回答率は、子ども教育・人間発達学科は 40.1%、心理福祉学科が 59.7%、健康栄養学科が 47.9%、グローバル・スタディーズ学科が 49.7%であり、学年別回答率は、1 年生が 64.8%、2 年生が 40.6%、3 年生が 46.8%、4 年生が 50.0%であった（1)。有効回答数 397 件の構成比をみると、子ども教育・人間発達学科は 14.4%、心理福祉学科が 30.2%、健康栄養学科が 31.5%、グローバル・スタディーズ学科が 23.9%であった（1-1)。学年別の構成比は、1 年生が 26.4%、2 年生が 19.1%、3 年生が 25.4%、4 年生が 29.0%であった（1-2)。回答率では 1 年生が他の学年より 20 ポイント程度高いが、有効回答数の構成比は 1 年生から 4 年生がそれぞれ 20%～30%程度となり、学年に偏ることなく学生の特徴が把握できることとなった。しかしながら、前々回の 2019 年度の回答率は 75.9%であり、2022 年度と 2023 年度と下がっているので、今後は分析の精度を上げるため、回答率を高めていく必要がある。

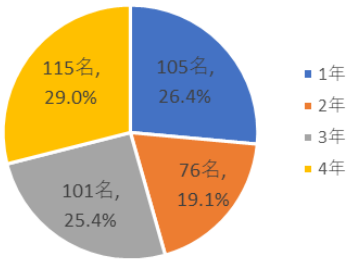
1　回答率

学科			1年		2年		3年		4年		総計	
子ども教育・人間発達学科	回答者数	回答率	18	50.0%	6	21.4%	9	25.7%	24	55.8%	57	40.1%
	在学者数		36		28		35		43		142	
心理福祉学科	回答者数	回答率	36	87.8%	22	44.0%	35	64.8%	27	48.2%	120	59.7%
	在学者数		41		50		54		56		201	
健康栄養学科	回答者数	回答率	31	57.4%	32	50.8%	29	40.8%	33	45.2%	125	47.9%
	在学者数		54		63		71		73		261	
グローバル･スタディーズ学科	回答者数	回答率	20	64.5%	16	34.8%	28	50.5%	31	53.4%	95	49.7%
	在学者数		31		46		56		58		191	
総計	回答者数	回答率	105	64.8%	76	40.6%	101	46.8%	115	50.0%	397	49.9%
	在学者数		162		187		216		230		795	

1-1　学科を教えてください。



1-2　学年を教えてください。

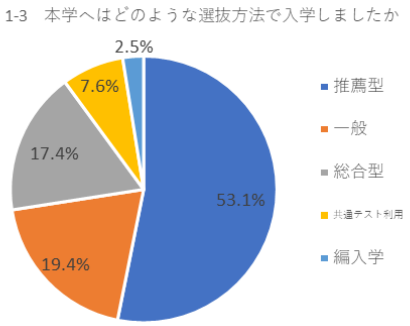


2）入試の選抜方法

入試の選抜方法は、「推薦型」が 53.1%と最も多く、「一般」が 19.4%、「総合型」が 17.4%と続いており、共通テスト利用は 7.6%と 1 割に満たない状況（1-3）であり、回答者の 9 割以上が年内の入試で本学への入学を決めたことが推察された。

1-3　本学へはどのような選抜方法で入学しましたか

選抜方法	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
推薦型	22	55	82	52	211	61	45	51	54	211
一般	14	25	23	15	77	9	13	27	28	77
総合型	18	30	8	13	69	26	17	12	14	69
共通テスト利用	3	10	4	13	30	9	1	8	12	30
編入学			8	2	10			3	7	10
合計	57	120	125	95	397	105	76	101	115	397



3）居住形態

居住形態についての回答は、「家族と同居している」が 61.2%、「一人暮らし」が 35.3%で、昨年度の調査（「親と同居している」62.2%、「一人暮らし」37.7%）とほぼ同じ傾向であった。

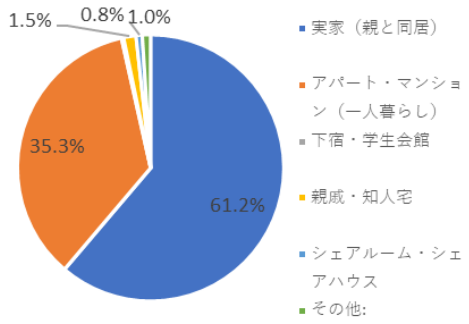
学科別にみると、回答者のうち、心理福祉学科（46 件）と健康栄養学科（52 件）が子ども教育・人間発達学科（22 件）やグローバル・スタディーズ学科（20 件）に比べて一人暮らしが多かった。また、学年ごとの一人暮らしの回答件数は 30 件～40 件程度でさほどの違いは見られなかった（1-4）。

1-4　あなたの現在のお住まいはどちらですか

住まいの形態	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
実家（親と同居）	33	69	70	71	243	64	42	65	72	243
アパート・マンション（一人暮らし）	22	46	52	20	140	37	31	32	40	140
下宿・学生会館	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1
親戚・知人宅	1	2	1	2	6	0	2	2	2	6
シェアルーム・シェアハウス	1	1	1	0	3	2	1	0	0	3
その他:	0	1	1	2	4	1	0	2	1	4
合計	57	120	125	95	397	105	76	101	115	397

◆その他回答：アパート(兄弟と同居)/同棲

1-4　あなたの現在のお住まいはどちらですか

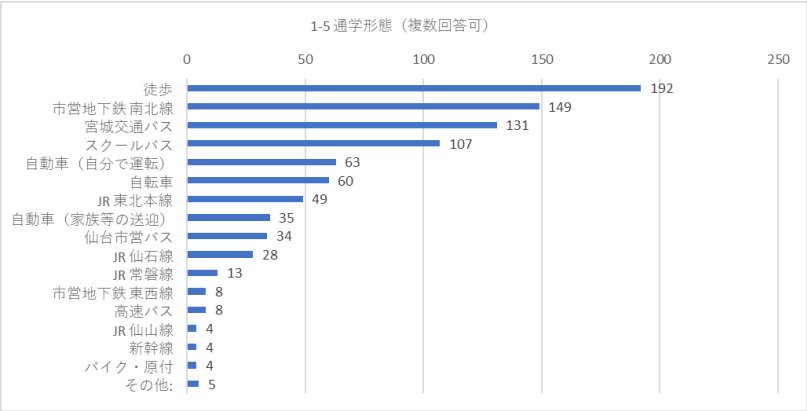


4）通学形態

通学形態（複数回答）では、回答率が高かった手段は、「徒歩」(192 件)、「市営地下鉄南北線」(149 件)、「宮城交通バス」(131 件)、「スクールバス」(107 件）であり、回答者の多くが、地下鉄と宮城交通バスを乗り継いで本学まで通っていることがうかがわれた。(1-5)

1-5　通学形態を教えてください （複数回答可）

通学形態	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
徒歩	26	59	71	36	192	53	40	50	49	192
市営地下鉄 南北線	22	40	46	41	149	42	32	33	42	149
宮城交通バス	22	38	43	28	131	42	29	33	27	131
スクールバス	15	36	25	31	107	31	23	22	31	107
自動車（自分で運転）	7	17	19	20	63	4	12	18	29	63
自転車	10	18	21	11	60	22	12	16	10	60
JR 東北本線	4	11	19	15	49	15	11	10	13	49
自動車（家族等の送迎）	4	13	11	7	35	7	4	16	8	35
仙台市営バス	4	11	6	13	34	12	7	7	8	34
JR 仙石線	4	8	11	5	28	7	5	7	9	28
JR 常磐線	1	4	4	4	13	3	2	4	4	13
市営地下鉄 東西線	1	2	3	2	8	2	2	4	0	8
高速バス	1	3	1	3	8	2	1	1	4	8
JR 仙山線	0	0	3	1	4	0	1	1	2	4
新幹線	0	1	2	1	4	1	0	2	1	4
バイク・原付	1	0	1	2	4	0	0	1	3	4
その他:	0	1	3	1	5	0	0	2	3	5
	122	262	289	221	894	243	181	227	243	894

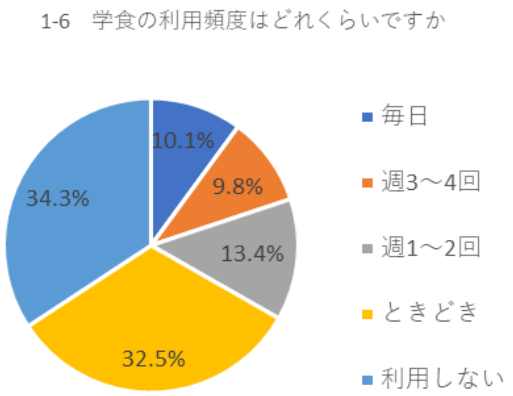


5）学食の利用頻度

2023 年度は学食の利用頻度についても調査を行ったが、その結果、「毎日」が 10.1%、「週 3～4 回」が 9.8%、「週 1～2 回」が 13.4%、「ときどき」が 32.5%と、利用頻度の差があるものの回答者の 65.8%が利用していることがわかった。一方、「利用しない」という回答は 34.3%であった。(1-6)

1-6　学食の利用頻度はどれくらいですか

利用頻度	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
毎日	5	13	19	3	40	19	12	6	3	40
週3～4回	7	17	7	8	39	22	11	4	2	39
週1～2回	17	21	6	9	53	17	10	10	16	53
ときどき	14	27	51	37	129	26	24	32	47	129
利用しない	14	42	42	38	136	21	19	49	47	136
合計	57	120	125	95	397	105	76	101	115	397



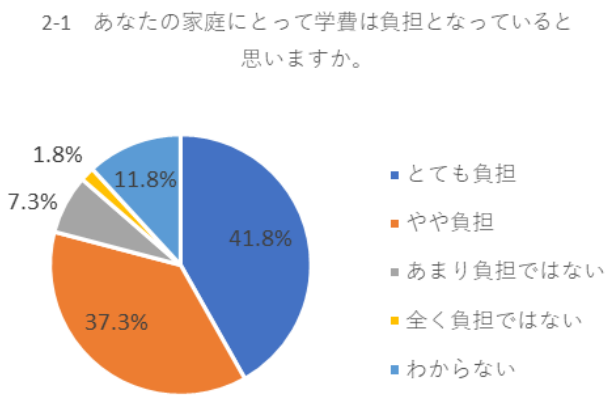
2．経済状況

1）学費

学費納入に対する負担感は、「とても負担」（41.8%）と「やや負担」（37.3%）を合わせると 79.1%（2-1）で、2022 年度（84.8%）より 5.7 ポイント減少したものの、依然として学費を負担に感じている学生は多いことがわかる。

2-1　あなたの家庭にとって学費は負担となっていると思いますか。

学費の負担感	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
とても負担	19	52	42	53	166	39	36	37	54	166
やや負担	29	43	57	19	148	42	24	43	39	148
あまり負担ではない	1	8	14	6	29	8	2	9	10	29
全く負担ではない		2	1	4	7	1	1	2	3	7
わからない	8	15	11	13	47	15	13	10	9	47
合計	57	120	125	95	397	105	76	101	115	397

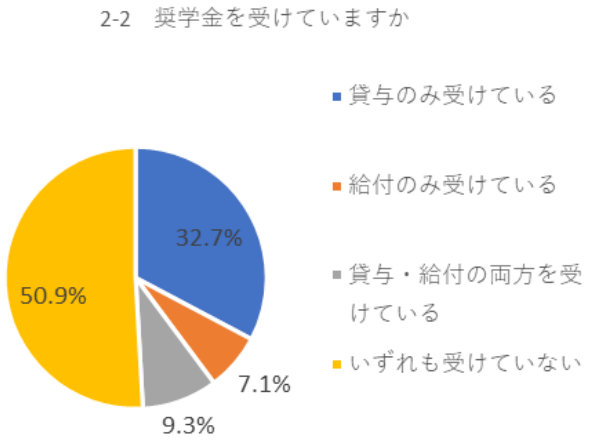


2）奨学金

奨学金の受給状況についての回答は、「貸与のみを受けている」が 32.7%、「給付のみを受けている」が 7.1%、「貸与・給付のみ受けている」が 9.3%で合わせて 49.1%となり、約半数が何らかの奨学金を受けていると回答した（2-2）。

2-2　奨学金を受けていますか

受給状況	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
貸与のみ受けている	17	42	39	32	130	42	19	30	39	130
給付のみ受けている	2	5	12	9	28	4	10	2	12	28
貸与・給付の両方を受けている	3	11	10	13	37	8	8	12	9	37
いずれも受けていない	35	62	64	41	202	51	39	57	55	202
合計	57	120	125	95	397	105	76	101	115	397



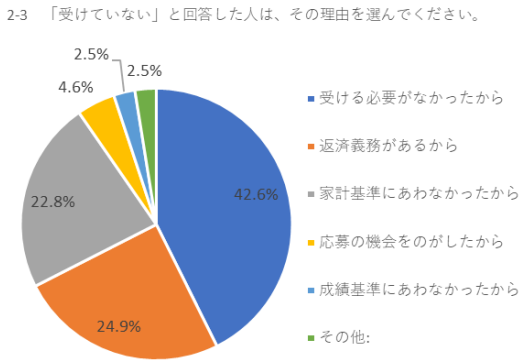
奨学金を受けていない理由は、「受ける必要がなかったから」が 42.6%、次に「返済義務があるから」が 24.9%、「家計基準にあわなかったから」が 22.8%と続いている（2-3）。

2-3　「受けていない」と回答した人は、その理由を選んでください。

奨学金を受けていない理由	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
受ける必要がなかったから	18	28	22	16	84	21	10	30	23	84
返済義務があるから	7	19	16	7	49	11	14	14	10	49
家計基準にあわなかったから	5	10	19	11	45	10	13	7	15	45
応募の機会をのがしたから	2	2	3	2	9	6	0	2	1	9
成績基準にあわなかったから	2	1	0	2	5	1	0	2	2	5
その他:	0	1	3	1	5	1	0	2	2	5
合計	34	61	63	39	197	50	37	57	53	197

◆その他回答：利子がつくから/受けていたが使わなかったため/家庭の事情/条件に当てはまらなかった など

（注）個人が特定される記述内容は除外した。



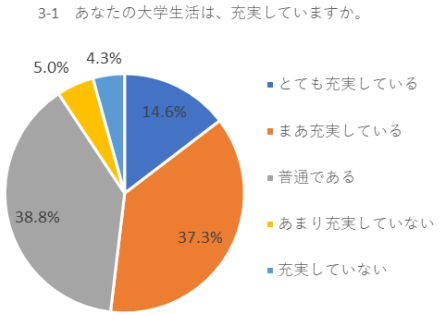
3．大学生活

1）大学生活の満足度

大学生活への満足度は、「とても充実している」（14.6%）と「まあ充実している」（37.3%）を合わせると 51.9%、「普通である」が 38.8%であり（3-1）、2022 年度とほぼ同じ傾向であった。

3-1　あなたの大学生活は、充実していますか。

大学生活の充実度	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
とても充実している	11	18	15	14	58	15	11	10	22	58
まあ充実している	21	48	48	31	148	43	29	39	37	148
普通である	18	41	54	41	154	38	26	40	50	154
あまり充実していない	3	9	4	4	20	6	7	4	3	20
充実していない	4	4	4	5	17	3	3	8	3	17
合計	57	120	125	95	397	105	76	101	115	397



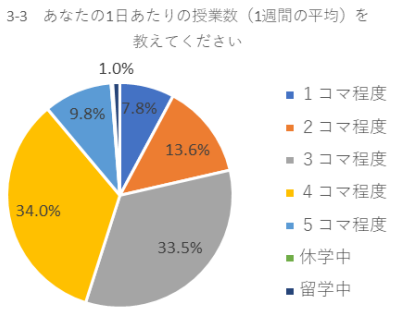
充実していない理由（3-2、自由記述）では、心身の疾患、気分、経済面、将来に対する不安など、学生自身の個人的な悩みが記され、コロナ禍による影響を指摘する記述は、2022 年度に比べて減少していた。

2）授業や自宅学習の時間

一日あたりの授業数は、「4 コマ程度」（34.0%）と「3 コマ程度」（33.5%）が多かった（3-3）。自宅での自習時間は、「1 時間未満」が 34.5%と最も多く、次いで「1 時間以上 2 時間未満」が 26.4%、「していない」が 15.4%（3-4）で、学生の自宅での自習時間が少ないことが明らかとなった。

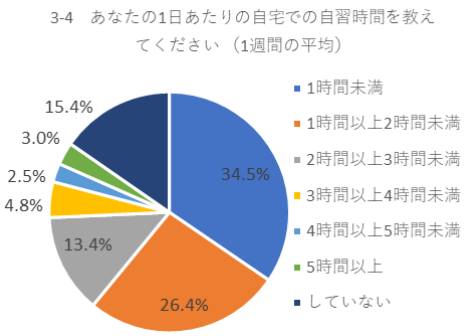
3-3　あなたの1日あたりの授業数（1週間の平均）を教えてください

1日あたりの授業数	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
1 コマ程度		13	3	15	31	1			30	31
2 コマ程度	6	23	10	15	54	1	2	20	31	54
3 コマ程度	27	48	30	28	133	22	18	62	31	133
4 コマ程度	20	35	49	31	135	65	39	14	17	135
5 コマ程度	4		33	2	39	16	14	3	6	39
休学中		1			1			1		1
留学中				4	4		3	1		4
合計	57	120	125	95	397	105	76	101	115	397



3-4　あなたの1日あたりの自宅での自習時間を教えてください （1週間の平均）

1日当たりの自習時間	人間発達	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
1時間未満	19	37	40	41	137	39	35	40	23	137
1時間以上2時間未満	17	38	30	20	105	36	22	30	17	105
2時間以上3時間未満	5	18	22	8	53	10	5	8	30	53
3時間以上4時間未満	2	7	9	1	19	6	3	5	5	19
4時間以上5時間未満		2	7	1	10	1	2	1	6	10
5時間以上		7	4	1	12	1		1	10	12
していない	14	11	13	23	61	12	9	16	24	61
合計	57	120	125	95	397	105	76	101	115	397



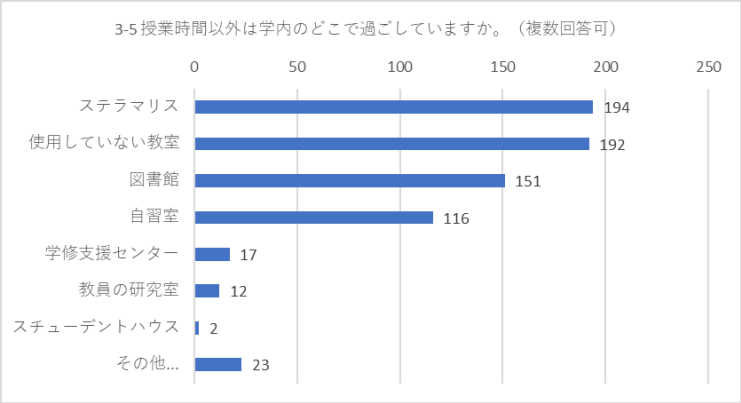
3）授業時間外の居場所

授業時間外の居場所（複数回答）については、「ステラマリス」（194 件）、「使用していない教室」（192 件）、「図書館」（151 件）、「自習室」（116 件）が多く、用途に応じていろいろな場所が選ばれていることがわかった（3-5）。

3-5　授業時間以外は学内のどこで過ごしていますか。（複数回答可）

授業時間以外の居場所	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
ステラマリス	32	76	53	33	194	76	45	36	37	194
使用していない教室	28	51	68	45	192	36	36	67	53	192
図書館	22	55	34	40	151	37	25	35	54	151
自習室	10	31	44	31	116	15	19	30	52	116
学修支援センター	5	10	2	0	17	2	2	6	7	17
教員の研究室	3	6	1	2	12	0	1	3	8	12
スチューデントハウス	0	1	1	0	2	0	0	1	1	2
その他…	5	6	6	6	23	10	3	3	7	23
合計	105	236	209	157	707	176	131	181	219	707

◆その他回答：１号館２階などの空いている場所/PC室/空きテーブル/ピアノ室でピアノの練習/売店の隣のスペース/廊下/学内を歩いていたりする/実習室/造形室/1号館6階/心理演習室　等



4）大学内外の活動

①サークルやクラブ活動

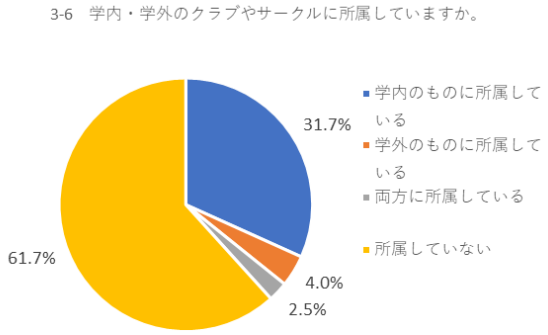
サークルやクラブ活動に「所属している」と回答した学生は、「学内のものに所属している」（31.7%）と「学外のものに所属している」（4.0%）を合わせると 35.7%であった。一方、「所属していない」学生が 61.7%で、2022 年度（62.8%）とほぼ同じ割合であった（3-6）。

所属している学生の参加目的（複数回答）は、「学生生活の充実のため」（82 件）が一番多く、次いで「就職に有利なため」（43 件）、「知識・教養を身につけるため」（35 件）、「友達を作るため」（30 件）となった（3-7）。

反対に、「所属していない」理由（3-8）は、「アルバイトが忙しいため」（104 件）、「勉強が忙しいため」（75 件）よりも、「入りたいものがないため」（136 件）が多かった。

3-6　学内・学外のクラブやサークルに所属していますか。

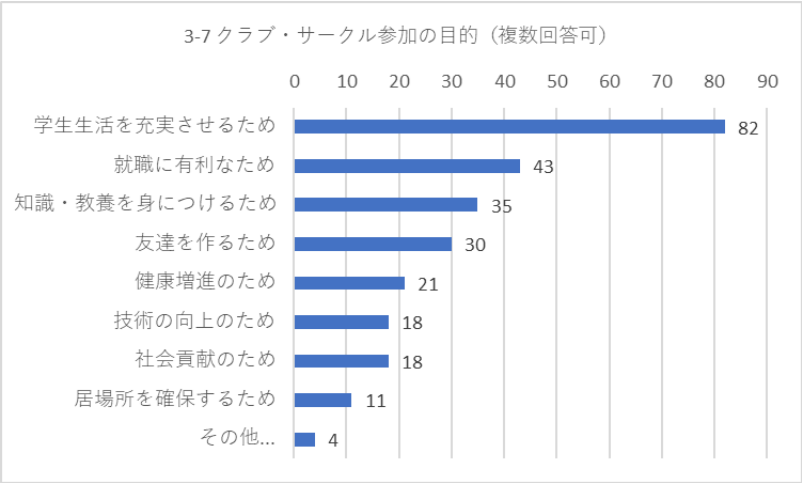
サークルの所属状況	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
学内のものに所属している	23	43	28	32	126	31	23	26	46	126
学外のものに所属している		5	10	1	16	9	2	3	2	16
両方に所属している	1	5		4	10	2	2	2	4	10
所属していない	33	67	87	58	245	63	49	70	63	245
合計	57	120	125	95	397	105	76	101	115	397



3-7　「所属している」と回答した人は、その参加の目的を選んでください。（複数回答可）

参加の目的	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
学生生活を充実させるため	10	32	22	18	82	22	12	20	28	82
就職に有利なため	4	15	16	8	43	7	9	10	17	43
知識・教養を身につけるため	6	18	4	7	35	8	7	6	14	35
友達を作るため	1	14	5	10	30	7	5	9	9	30
健康増進のため	4	5	8	4	21	6	6	4	5	21
技術の向上のため	3	8	3	4	18	8	2	3	5	18
社会貢献のため	5	5	8	0	18	1	5	1	11	18
居場所を確保するため	4	5	2	0	11	6	2	1	2	11
その他…	0	1	1	2	4	2	1	1	0	4
	37	103	69	53	262	67	49	55	91	262

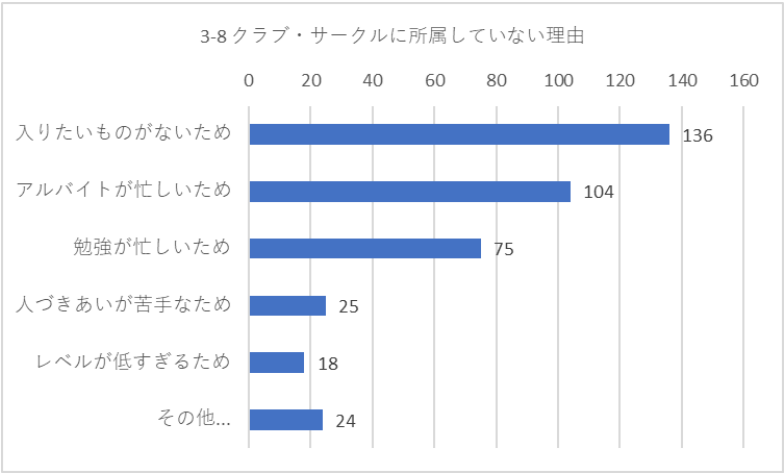
◆その他回答：やってみたかったから/興味本位/先輩と人脈をつくるため/友達からの勧誘



3-8　「所属していない」と回答した人は、その理由を選んでください。（複数回答可）

所属していない理由	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
入りたいものがないため	18	35	54	29	136	39	28	36	33	136
アルバイトが忙しいため	11	28	39	26	104	26	28	31	19	104
勉強が忙しいため	5	23	40	7	75	24	15	22	14	75
人づきあいが苦手なため	5	10	5	5	25	8	6	5	6	25
レベルが低すぎるため	1	6	6	5	18	5	6	5	2	18
その他…	4	6	10	4	24	2	1	10	11	24
	44	108	154	76	382	104	84	109	85	382

◆その他回答：帰りの電車がなくなるため/参加するきっかけがない/時間が無いため/すぐに帰宅したいため/そもそもどういったものがあるかわからないから/学内のサークルの入り方が分からなかったため。/見学に行こうとメールを数回したが、返信がなかったため/自宅生のため/体験に行かなかったから/入る機会が無かったため/通学時間が長いためコロナ禍での入学なので、入るタイミングをなくしたから/通学に時間がかかるため/両立が難しいため など

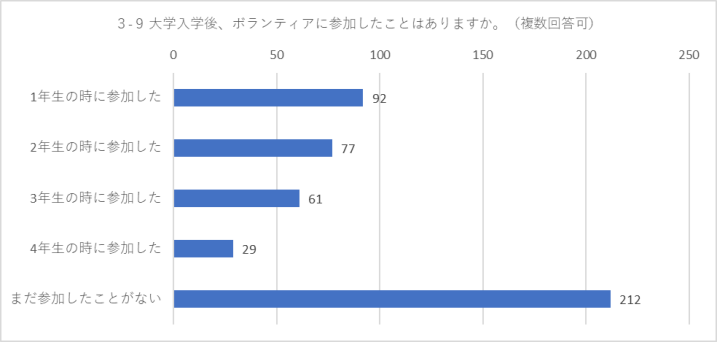


②ボランティア活動

ボランティア活動の参加状況は、「まだ参加したことがない」が 212 件で回答者（397 件）の 53.4%であった。1 年生から 4 年生までの参加状況については複数回答可で回答してもらった（3-9）ため、有効回答数 397 件からこの 212 件を差し引いて参加者数を計算すると 185 名となり、46.6%の学生がボランティアに参加していることがわかる。2022 年度の 41.2%から 5.4 ポイントほど増えた。また、参加した学年（複数回答）は、1 年生 92 件、2 年生 77 件、3 年生 61 件、4 年生 29 件であり、合わせると 259 件となり、学生が複数年次に渡って参加していることがうかがわれる。

3-9　大学入学後、ボランティアに参加したことがありますか。（複数回答可）

ボランティア参加状況	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
1年生の時に参加した	14	30	30	18	92	34	26	9	23	92
2年生の時に参加した	17	15	16	29	77	0	25	22	30	77
3年生の時に参加した	15	10	22	14	61	0	0	27	34	61
4年生の時に参加した	9	2	15	3	29	0	0	0	29	29
まだ参加したことがない	23	76	64	49	212	72	38	58	44	212
	78	133	147	113	471	106	89	116	160	471

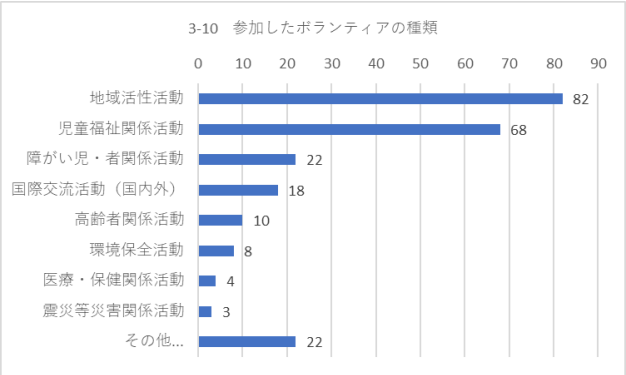


ボランティア活動参加者の内容（複数回答）は、地域活性活動（82 件）、児童福祉関係活動（68 件）が多く（3-10）、ボランティア活動参加の理由では、「教員に紹介されたから」（47 件）、「就職に役立てるため」（44 件）が多く（3-11）、学業や就職に役立てようとしたことが推察される。

3-10　「参加した」と回答した人は、参加したことがあるボランティア活動の種類について当てはまるものを選んでください。

ボランティアの種類	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
地域活性活動	13	11	37	21	82	12	20	14	36	82
児童福祉関係活動	23	20	13	12	68	9	9	16	34	68
障がい児・者関係活動	9	10	2	1	22	4	5	5	8	22
国際交流活動（国内外）	0	4	0	14	18	0	1	10	7	18
高齢者関係活動	5	2	2	1	10	1	0	4	5	10
環境保全活動	0	1	4	3	8	1	2	2	3	8
医療・保健関係活動	0	4	0	0	4	2	0	2	0	4
震災等災害関係活動	0	3	0	0	3	0	0	2	1	3
その他…	4	5	9	4	22	7	6	6	3	22
	54	60	67	56	237	36	43	61	97	237

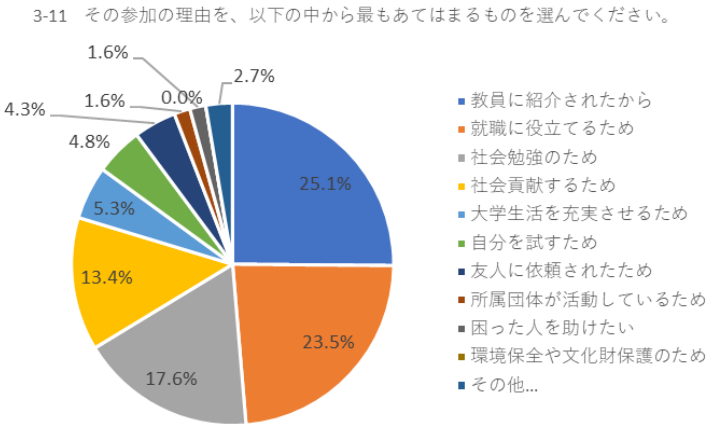
◆その他回答：いぬねこ保護活動/オープンキャンパスのスタッフ/白百合学園の児童クラブ/福祉イベントの運営/利府児童館での発表(歌)/タイフェス/さくらんぼボランティア/お祭りの手伝い/認可外保育所/農業体験ツアー/イベント運営/学会の研究会大会の運営ボランティア/食育関係活動/



3-11　その参加の理由を、以下の中から最もあてはまるものを選んでください。

ボランティア参加の理由	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
教員に紹介されたから	6	10	28	3	47	9	13	13	12	47
就職に役立てるため	8	5	9	22	44	6	10	12	16	44
社会勉強のため	5	14	7	7	33	5	6	6	16	33
社会貢献するため	4	10	7	4	25	8	4	4	9	25
大学生活を充実させるため	2	1	2	5	10	3	1	2	4	10
自分を試すため	1	1	3	4	9	2	2	4	1	9
友人に依頼されたため	5	1	1	1	8	0	0	1	7	8
所属団体が活動しているため	1	0	2	0	3	0	0	1	2	3
困った人を助けたい	2	0	0	1	3	0	2	0	1	3
環境保全や文化財保護のため	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他...	0	2	2	1	5	1	1	0	3	5
	34	44	61	48	187	34	39	43	71	187

◆その他回答：母の手伝い/レクリエーションインストラクターの資格の履修をとっているため、知識を活かして経験を積みたいと考えたから/教職科目の授業の一環/時間があったから/友人に誘われ、自分も興味



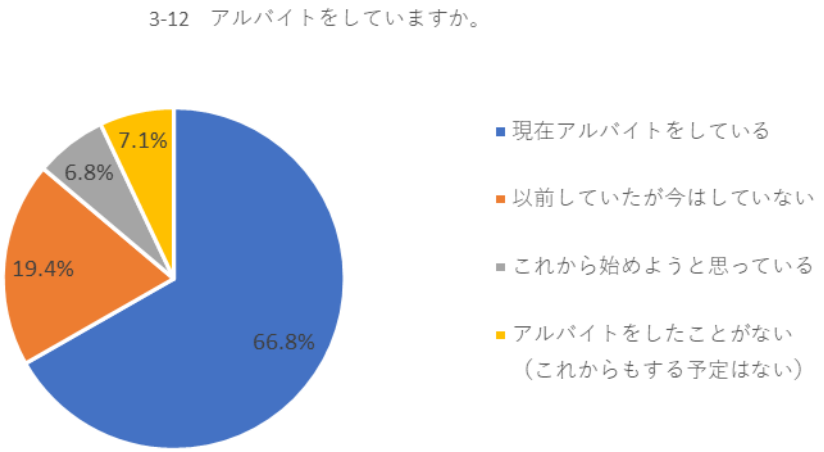
③アルバイト

アルバイトについては、「現在アルバイトをしている」（66.8%）、「以前していたが今はしていない」（19.4%）、「これから始めようと思っている」（6.8%）であった（3-12）。

アルバイトをする動機・理由について、最もあてはまるものは、「自分の買い物や趣味のため」（53.1%）が最も多く、次いで「生活費や学費」（31.3%）であった。アルバイトの 1 週間の平均労働時間（3-14）は、「8 時間以上」（25.7%）が最も多く、次いで「4～5 時間」（23.1%）という結果となった。アルバイト先（複数回答）については、「飲食店」（178 件）、「小売店（123 件）」が多かったが、その他の回答も 70 件と多く、その種類も多岐にわたっていた（3-15）。

3-12　アルバイトをしていますか。

アルバイトの状況	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
現在アルバイトをしている	41	75	79	70	265	74	57	73	61	265
以前していたが今はしていない	8	22	29	18	77	12	12	10	43	77
これから始めようと思っている	4	10	9	4	27	13	4	8	2	27
アルバイトをしたことがない（これからもする予定はない）	4	13	8	3	28	6	3	10	9	28
合計	57	120	125	95	397	105	76	101	115	397

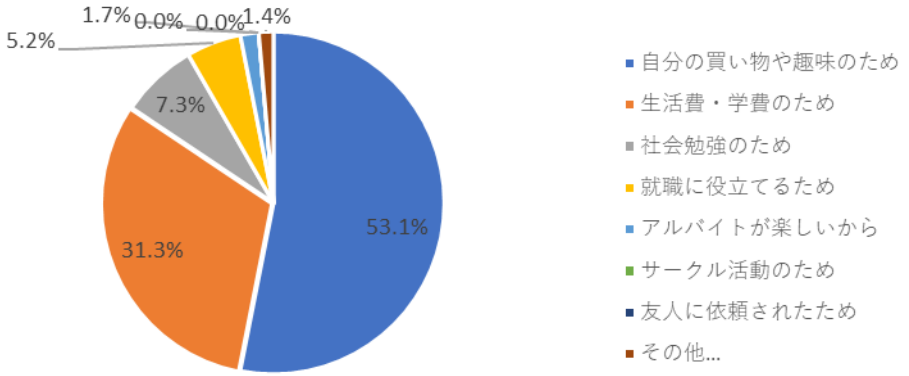


3-13　「現在アルバイトをしている」「これから始めようと思っている」と回答した人は、そのアルバイトをする動機・理由について以下の中から最もあてはまるものを選んでください。

アルバイトの動機・理由	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
自分の買い物や趣味のため	29	42	46	36	153	53	30	39	31	153
生活費・学費のため	14	24	26	26	90	22	21	28	19	90
社会勉強のため	1	13	4	3	21	5	3	5	8	21
就職に役立てるため	1	3	6	5	15	1	3	7	4	15
アルバイトが楽しいから	1	2	0	2	5	1	0	3	1	5
サークル活動のため	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
友人に依頼されたため	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他…	0	1	1	2	4	0	2	1	1	4
合計	46	85	83	74	288	82	59	83	64	288

◆その他回答：興味/親の負担をなくす/貯金

3-13　「現在アルバイトをしている」「これから始めようと思っている」と回答した人は、そのアルバイトをする動機・理由について以下の中から最もあてはまるものを選んでください。

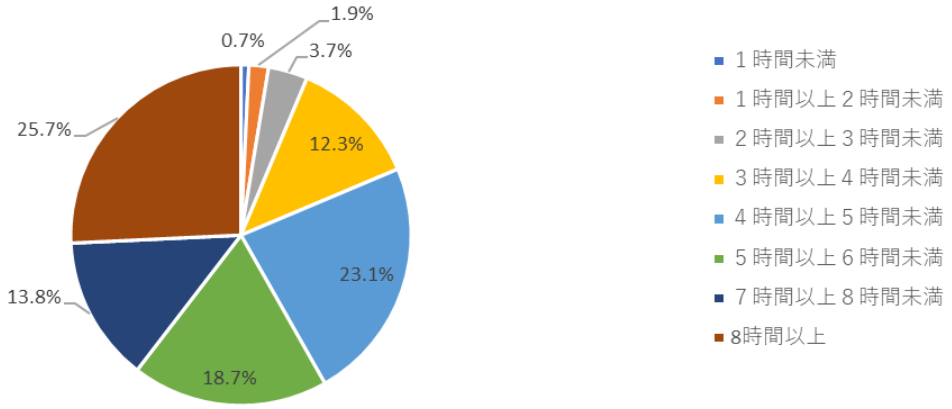


3-14　「現在アルバイトをしている」 と回答した人は、労働時間 を教えてください （1週間の平均）

アルバイトの労働時間	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
1 時間未満			1	1	2	2				2
1 時間以上 2 時間未満	2		3		5	2	1		2	5
2 時間以上 3 時間未満		5	2	3	10	6		2	2	10
3 時間以上 4 時間未満	5	11	12	5	33	12	10	7	4	33
4 時間以上 5 時間未満	14	14	22	12	62	15	15	23	9	62
5 時間以上 6 時間未満	11	16	18	5	50	15	11	13	11	50
7 時間以上 8 時間未満	4	11	10	12	37	8	6	9	14	37
8時間以上	8	19	11	31	69	16	13	19	21	69
合計	44	76	79	69	397	105	76	101	115	397

（注）選択肢に不備があり「6時間以上7時間未満」の回答を収集することができなかった。

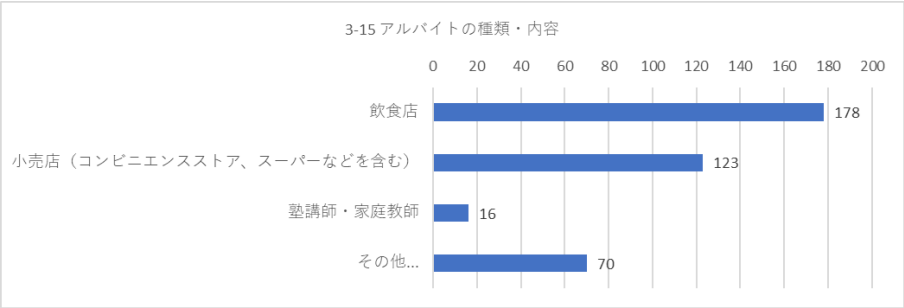
3-14　「現在アルバイトをしている」 と回答した人は、労働時間 を教えてください （1週間の平均）



3-15　現在している（これまでしていた）アルバイトの種類・内容は次のどれですか。当てはまるものを選んでください。（複数回答可）

アルバイトの種類・内容	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
飲食店	22	39	68	49	178	50	47	39	42	178
小売店（コンビニエンスストア、スーパーなどを含む）	16	38	36	33	123	37	22	31	33	123
塾講師・家庭教師	5	6	2	3	16	6	3	3	4	16
その他…	13	26	14	17	70	12	11	23	24	70
	56	109	120	102	387	105	83	96	103	387

◆その他回答：アパレル/がそすた/ゲームセンター/イベントスタッフ/接客業/雑貨屋さん/受付/学生支援員/障害者施設/販売員/単発バイト/福祉/スタジアムスタッフ/ホテル/カラオケ/病院/清掃/クリーニング/コールセンター/コロナワクチン接種会場スタッフ/卸売業/球場運営バイト/ネットカフェ店員/ブライダル/児童クラブ/児童発達支援/写真館/学堂保育/放課後等デイサービス/ビアガーデン/派遣/スポーツジムのインストラクター/フィットネスクラブ/巫女/学習支援員/事務/児童福祉施設/学習支援員/図書室/病院厨房/郵便局/軽作業　等



④睡眠時間

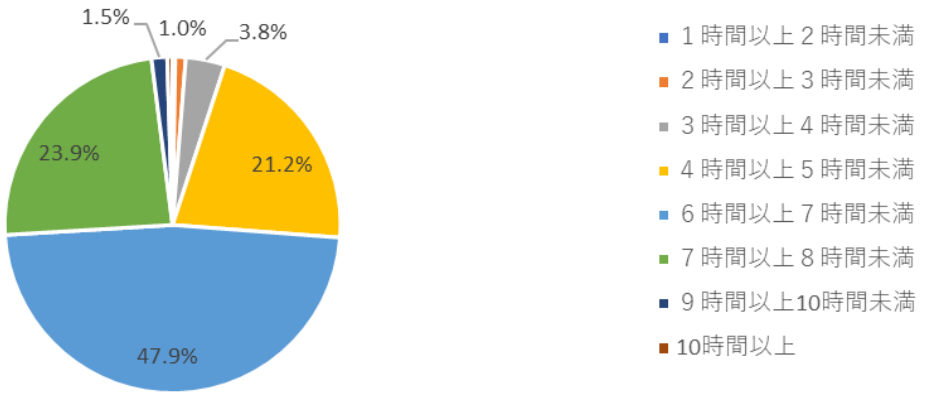
大学内外の活動に影響される睡眠時間については、1 週間の平均で「6～7 時間」が 47.9%と最も多く、次いで「7～8 時間」(23.9%)、「4～5 時間」(21.2%）となっており、7 割以上が 6 時間以上睡眠時間を確保している一方、5 人に 1 人が短い睡眠時間で生活していることがわかった（3-16)。

3-16　あなたの睡眠時間 を教えてください （1週間の平均）

睡眠時間	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
1 時間以上 2 時間未満		1			1	1				1
2 時間以上 3 時間未満		3		1	4	3		1		4
3 時間以上 4 時間未満	2	2	6	5	15	4		6	5	15
4 時間以上 5 時間未満	14	21	34	15	84	25	21	23	15	84
6 時間以上 7 時間未満	29	57	67	37	190	52	39	41	58	190
7 時間以上 8 時間未満	12	33	18	32	95	20	14	27	34	95
9 時間以上10時間未満		2		4	6		1	2	3	6
10時間以上		1		1	2		1	1		2
合計	57	120	125	95	397	105	76	101	115	397

（注）選択肢に不備があり「5時間以上6時間未満」の回答を収集することができなかった。

3-16　あなたの睡眠時間を教えてください（1週間の平均）



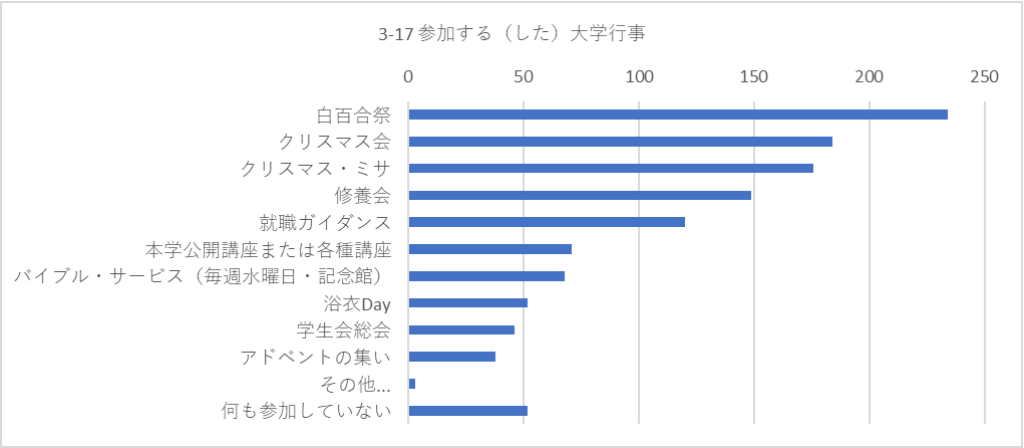
⑤大学行事

2023 年度に参加した大学行事（複数回答）は、「白百合祭」(234 件)、「クリスマス会」(184 件)、「クリスマス・ミサ」(176 件)、「修養会」(149 件)、「就職ガイダンス」(120 件）の回答数が多かった（3-17)。「白百合祭」と「クリスマス会」は学生が主体となって開催する楽しみの多い行事であり、また、「クリスマス・ミサ」は「クリスマス会」と同日に実施されるため、出席者が多かったと思われる。一方、「バイブル・サービス」(毎週水曜日昼休み実施）や「浴衣 Day」(7 月初旬に浴衣を着て講義参加可）に参加したという回答数は低めであった。2022 年度の報告書にも記載されていたが、学生参加の少ない行事については、その原因を探り、行事の目的や内容などを検討する必要があろう。

3-17　今年度に参加する（した）大学行事を選んでください。（複数回答可）

参加する（した）大学行事	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
白百合祭	31	81	72	50	234	91	54	44	45	234
クリスマス会	27	57	51	49	184	66	46	37	35	184
クリスマス・ミサ	22	59	49	46	176	75	46	33	22	176
修養会	24	51	47	27	149	58	41	31	19	149
就職ガイダンス	19	34	38	29	120	2	16	69	33	120
本学公開講座または各種講座	11	16	36	8	71	24	12	16	19	71
バイブル・サービス（毎週水曜日・記念館）	2	27	25	14	68	55	2	5	6	68
浴衣Day	11	22	13	6	52	12	10	18	12	52
学生会総会	6	20	9	11	46	17	12	6	11	46
アドベントの集い	11	14	7	6	38	17	6	5	10	38
その他…	1	1	1	0	3	0	0	3	0	3
何も参加していない	6	19	14	13	52	4	5	10	33	52
	171	401	362	259	1193	421	250	277	245	1193

◆その他回答：覚えていない。/入学式、ウェルカムフェスティバル/オープンキャンパス



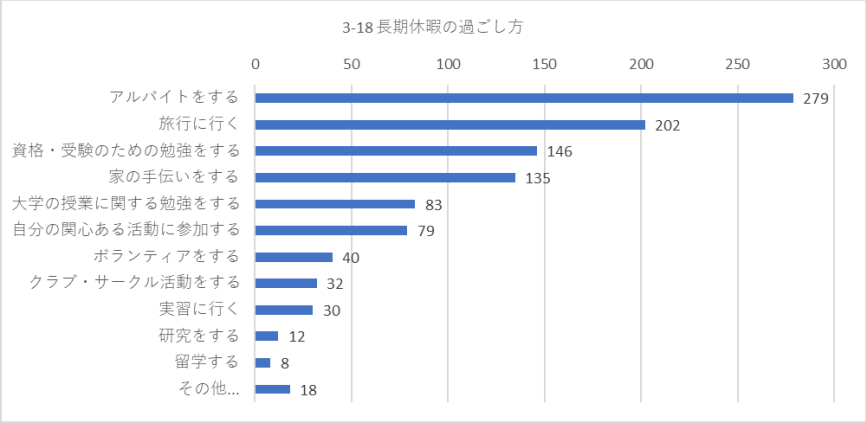
⑥長期休暇の過ごし方

長期休暇の過ごし方（複数回答）は、「アルバイトをする」(279 件）と「旅行に行く」(202 件）の回答が 200 件を超えており、次いで「資格・受験のための勉強をする」(146 件)、「家の手伝いをする」(135 件)、「大学の授業に関する勉強をする」(83 件)、「自分に感心のある活動に参加する」(79 件）という結果となり、堅実に過ごしている様子がうかがわれた。

3-18　長期休暇（夏休み／春休み）はどのように過ごしていますか。当てはまるものを選んでください。（複数回答可）

長期休暇の過ごし方	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
アルバイトをする	42	79	85	73	279	80	58	72	69	279
旅行に行く	26	49	69	58	202	52	47	52	51	202
資格・受験のための勉強をする	18	47	52	29	146	23	23	47	53	146
家の手伝いをする	18	52	47	18	135	49	23	34	29	135
大学の授業に関する勉強をする	5	46	23	9	83	34	12	18	19	83
自分の関心ある活動に参加する	11	27	20	21	79	24	12	21	22	79
ボランティアをする	12	12	9	7	40	12	13	6	9	40
クラブ・サークル活動をする	5	11	10	6	32	10	9	6	7	32
実習に行く	11	9	7	3	30	8	4	8	10	30
研究をする	1	8	3	0	12	0	0	3	9	12
留学する	0	0	1	7	8	4	3	1	0	8
その他…	3	10	4	1	18	3	4	8	3	18
	152	350	330	232	1064	299	208	276	281	1064

◆その他回答：実家に帰省する/ゆっくり過ごす/趣味/帰省する。/企業説明会に参加する/祖父母の家に遊びに行く/インターン/実習準備/帰省する/ゆっくり好きなことをして過ごす/休む/帰省友達と遊びに行く/彼氏の家に行く/レポートを書く。/地元へ帰省する/ゼミ活動をする/ゼミの活動をする/帰省

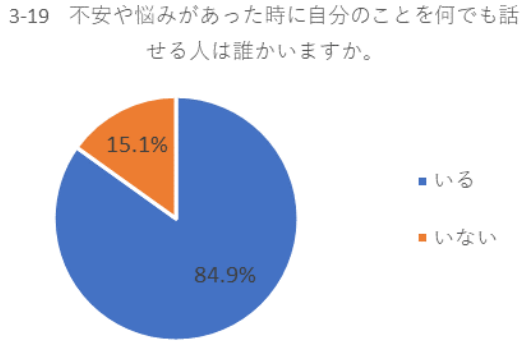


⑦不安や悩み

不安や悩みを相談できる人が「いる」という回答は 84.9%であった（3-19）。不安や悩み（複数回答）で回答数が 100 件を超えたのは、「就職や将来の進路」（235 件）、「授業などの学業」（209 件）、「友人との対人関係」（180 件）、「自分の性格」（120 件）、「アルバイト」（108 件）であった（3-20）。相談相手（複数回答）は、友人（278 件）と家族（237 件）が圧倒的に多く（3-21）、2022 年度と同様、学生にとって友人や家族の存在が大きいことが示された。

3-19　不安や悩みがあった時に自分のことを何でも話せる人は誰かいますか。

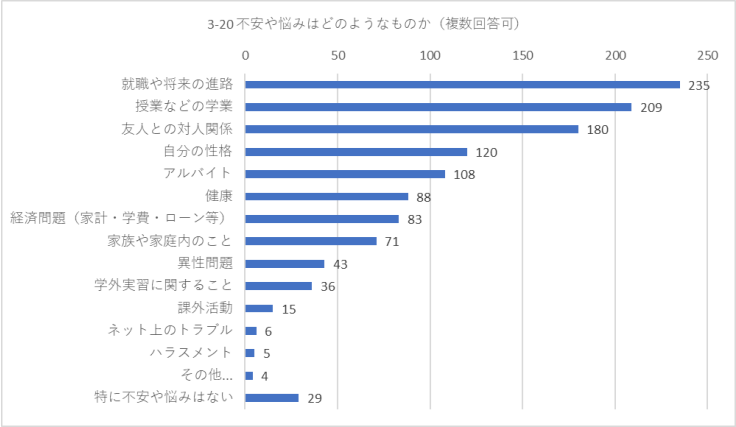
話せる相手の有無	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
いる	48	99	110	80	337	92	62	84	99	337
いない	9	21	15	15	60	13	14	17	16	60
合計	57	120	125	95	397	105	76	101	115	397



3-20　あなたに不安や悩みがあるとすれば、それはどのようなものですか（複数回答可）

不安や悩みの内容	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
就職や将来の進路	26	77	74	58	235	48	44	73	70	235
授業などの学業	25	71	82	31	209	73	46	51	39	209
友人との対人関係	32	64	43	41	180	50	27	49	54	180
自分の性格	23	52	25	20	120	40	19	30	31	120
アルバイト	12	42	26	28	108	42	21	27	18	108
健康	5	34	33	16	88	26	17	25	20	88
経済問題（家計・学費・ローン等）	10	29	25	19	83	29	15	25	14	83
家族や家庭内のこと	13	24	21	13	71	18	11	22	20	71
異性問題	5	15	10	13	43	10	10	11	12	43
学外実習に関すること	4	10	19	3	36	6	10	15	5	36
課外活動	0	5	7	3	15	6	4	4	1	15
ネット上のトラブル	1	2	1	2	6	3	1	0	2	6
ハラスメント	1	2	1	1	5	1	0	1	3	5
その他…	0	2	2	0	4	0	2	1	1	4
特に不安や悩みはない	6	6	9	8	29	9	2	3	15	29
	163	435	378	256	1232	361	229	337	305	1232

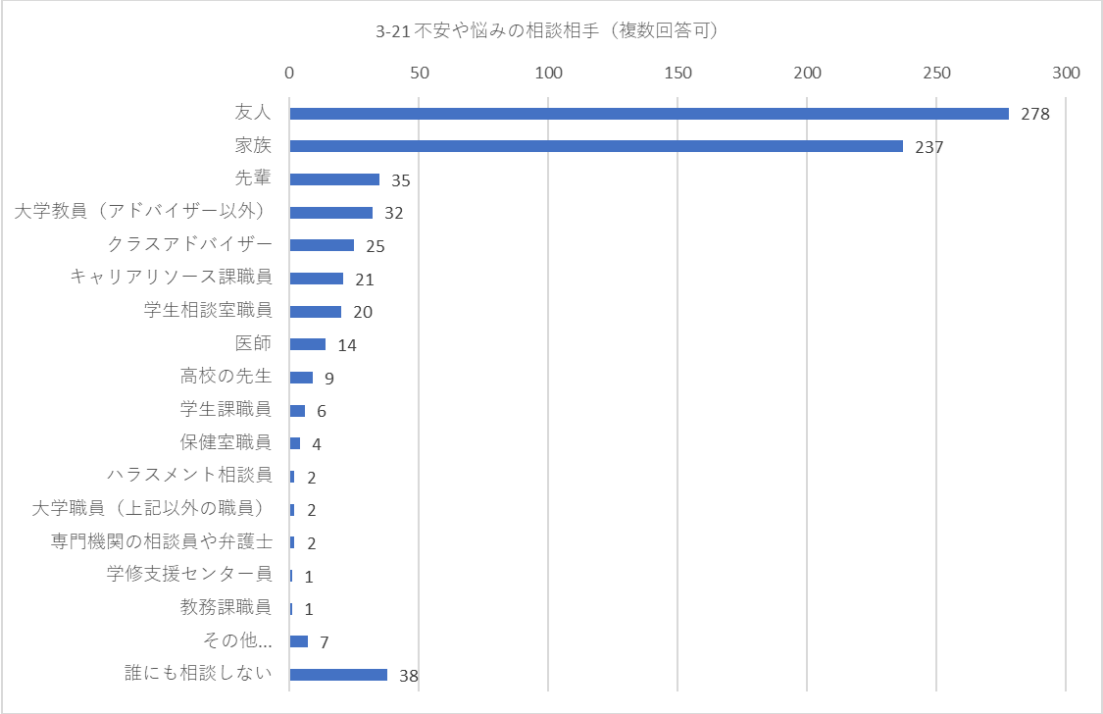
◆その他回答：奨学金/貯金　物価高/1人暮らしをする上での災害対策/国家試験



3-21　不安や悩みがあると回答した方は、その不安や悩みについて誰に相談しましたか。または相談しようと思っていますか。（複数回答可）

相談相手	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
友人	42	87	87	62	278	69	54	77	78	278
家族	36	78	75	48	237	69	46	58	64	237
先輩	7	8	11	9	35	12	6	11	6	35
大学教員（アドバイザー以外）	8	12	8	4	32	1	3	8	20	32
クラスアドバイザー	1	10	12	2	25	8	3	8	6	25
キャリアリソース課職員	0	10	6	5	21	1	1	11	8	21
学生相談室職員	3	12	4	1	20	4	3	8	5	20
医師	2	7	2	3	14	4	4	5	1	14
高校の先生	0	6	3	0	9	3	3	2	1	9
学生課職員	2	1	1	2	6	1	2	2	1	6
保健室職員	0	2	2	0	4	1	2	1	0	4
ハラスメント相談員	0	1	0	1	2	0	0	0	2	2
大学職員（上記以外の職員）	0	1	1	0	2	0	1	0	1	2
専門機関の相談員や弁護士	0	2	0	0	2	0	0	2	0	2
学修支援センター員	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1
教務課職員	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1
その他…	3	3	1	0	7	2	2	1	2	7
誰にも相談しない	4	15	8	11	38	11	6	13	8	38
	108	256	221	149	734	186	137	207	204	734

◆その他回答：学外のカウンセラー/学外のカウンセラーさん/中学の先生/薬剤師/彼氏/恋人



４．ハラスメント（いやがらせ）

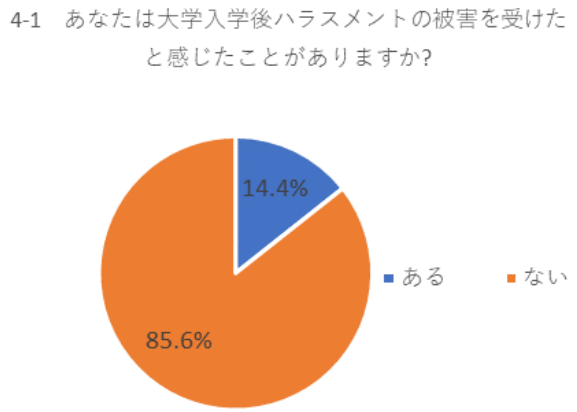
学内でハラスメントを受けたと感じたのは 57 名で回答者全体（397 名）の 14.4%であった（4-1）。ハラスメントの相手（複数回答）は、教員が 26 件と一番多く、学生が 14 件、職員が 1 件、その他 16 件で、その他の記述欄は未記入であった（4-2）。また、ハラスメントの内容をみても、「モラル・ハラスメント（言葉や態度による圧力）」が 19 件、「アカデミック・ハラスメント（教育的指導の不当な拒否または放置、成績評価・単位認定等に関する不公平・不公正な対応、修学上の不当な要求など）」が 13 件、「パワー・ハラスメント（社会的地位の高い者によるいやがらせ）」が 4 件であった（4-3）。ハラスメントを受けたと回答した者のうち、半数程度がその相手を教員だと回答していること、その内容も教員が学生指導の際に派生しがちな言動に関わることであることは、看過できないことであり、今後、教員への注意喚起や啓蒙を行っていく必要があろう。

そのハラスメントについては、56.9%が解決した回答しているが、33.3%が解決しなかったと回答しており（4-4）、ハラスメントの防止・対策の要望として、大学側に「外部相談窓口の紹介」（47 件）と「研修会の開催」（46 件）のほか、その他の意見として、「もっと積極的に大学側が動いてほしい」などが寄せられた。

Q4 ハラスメント（いやがらせ）について

4-1　あなたは学内でハラスメントを受けたと感じたことがありますか?

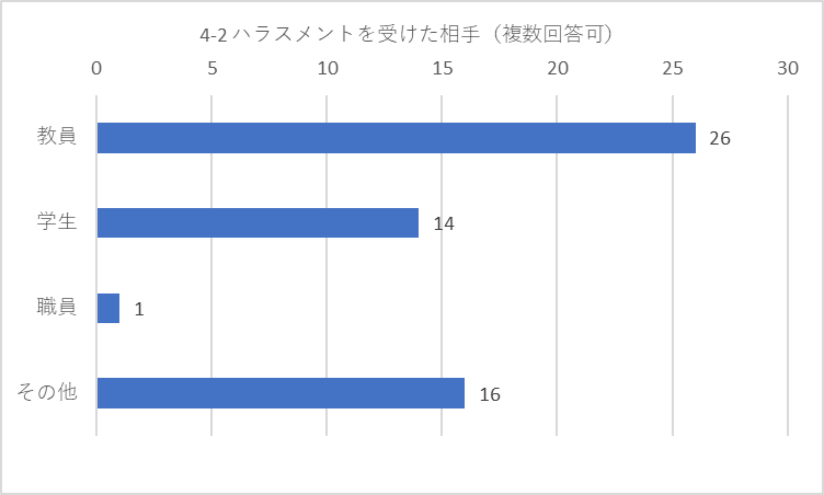
ハラスメントを感じた経験	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
ある	9	25	12	11	57	12	10	14	21	57
ない	48	95	113	84	340	93	66	87	94	340
合計	57	120	125	95	397	105	76	101	115	397



4-2　あると回答した方は、誰から受けましたか?（複数回答可）

ハラスメントの相手	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
教員	5	11	7	3	26	1	5	7	13	26
学生	3	7	1	3	14	3	1	6	4	14
職員	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9	18	8	6	41	4	6	13	18	41

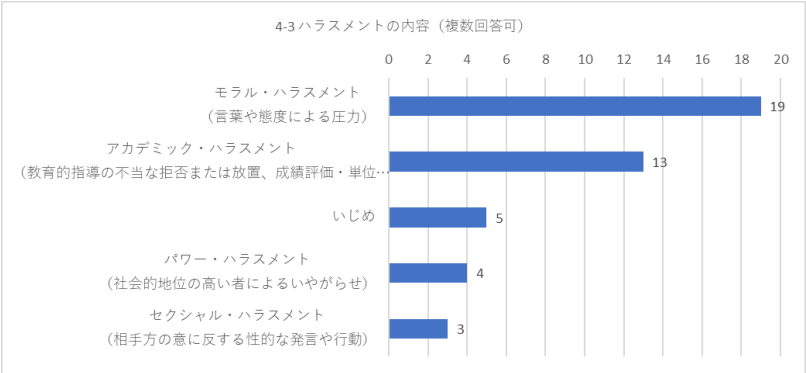
（注）「その他」の記述欄は未記入であった。



4-3　ハラスメントの内容は次のどれですか。（複数回答可）

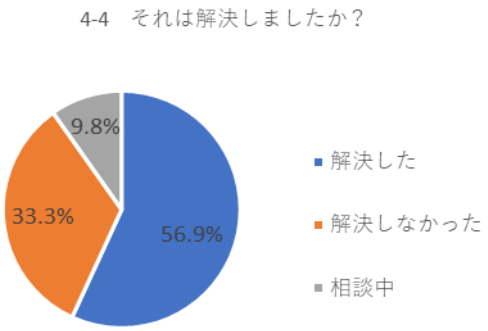
ハラスメントの内容	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
モラル・ハラスメント（言葉や態度による圧力）	3	9	4	3	19	2	3	5	9	19
アカデミック・ハラスメント（教育的指導の不当な拒否または放置、成績評価・単位認定等に関する不公平・不公正な対応、修学上の不当な要求など）	3	7	2	1	13	0	0	6	7	13
いじめ	0	3	1	1	5	0	0	2	3	5
パワー・ハラスメント（社会的地位の高い者によるいやがらせ）	1	2	0	1	4	1	2	0	1	4
セクシャル・ハラスメント（相手方の意に反する性的な発言や行動）	1	0	0	2	3	0	1	0	2	3
	8	21	7	8	44	3	6	13	22	44

◆その他回答：被害妄想/差別的な発言/事実無根の誹謗中傷をSNSに投稿された



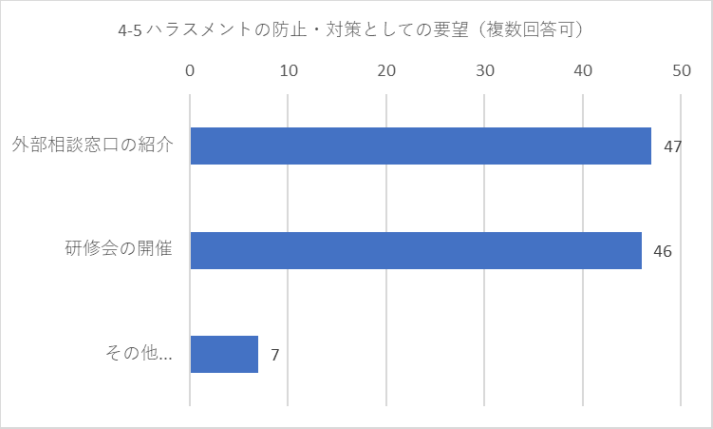
4-4　それは解決しましたか？

解決したか否か	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
解決した	1	6		2	29	9	8	6	7	29
解決しなかった	7	12	6	3	17	28	5	2	2	17
相談中		1	1	1	5	3	1	3	0	5
合計	8	19	7	6	51	40	14	11	9	51



4-5　ハラスメントの防止・対策として要望はありますか。(複数回答可)

ハラスメント対策の要望	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
外部相談窓口の紹介	6	17	14	10	47	14	13	11	9	47
研修会の開催	7	14	15	10	46	13	12	6	15	46
その他…	1	4	2	0	7	0	0	4	3	7
	14	35	31	20	100	27	25	21	27	100



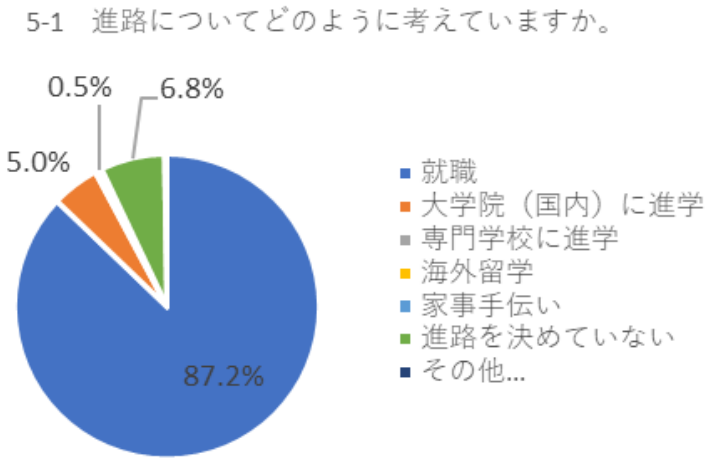
５．卒業後の進路

卒業後の進路に関する希望は、就職が 87.2%で、2022 年度の 85.6%をわずかに上回った（5-1）。考えている職種や就職先では、「専門職（保育士、介護福祉士、栄養士・管理栄養士）」が 156 件、「民間企業・団体」が 139 件、「公務員（国家・地方）」が 85 件であった。学科別にみると、健康栄養学科は回答数 159 件のうち専門職と回答した件数が 98 件と 6 割以上を占めており（5-2）、栄養士・管理栄養士の資格を生かした就職を希望していることがわかる。また、「公務員」を考えている回答者は、子ども教育・人間発達学科（19 件）、心理福祉学科（34 件）、健康栄養学科（18 件）、グローバル・スタディーズ学科（19 件）を合わせると 85 件であり、回答総数 486 件の 17%強となった。引き続き公務員対策講座を実施するなどして、合格につながる支援をする必要がある。回答者の 4 年生の内定先は、専門職（保育士、介護福祉士、栄養士・管理栄養士）が 41.4 %、民間企業・団体が 31.3%、公務員（国家・地方）が 8.1%であった（5-3）。学年が進むにつれて希望の職種や就職先が変化することは当然あるが、専門職や公務員の場合は、低学年時から合格に向けて対策や準備をする必要があり、適切な助言や指導が必要となるため、教職員が連携して支援をしていくことが望まれる。

5-1　進路についてどのように考えていますか。

進路についての考え	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
就職	52	94	115	85	346	83	67	91	105	346
大学院（国内）に進学	1	15	4	0	20	10	2	2	6	20
専門学校に進学	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1
海外留学	0	0	0	2	2	1	0	1	0	2
家事手伝い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
進路を決めていない	4	10	5	8	27	11	6	6	4	27
その他…	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1
	57	120	125	95	397	105	76	101	115	397

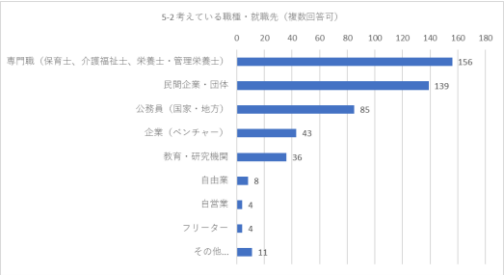
◆その他回答：アルバイトを経験してみたい



5-2　「就職」を選んだ人は、どのような職種・就職先を考えていますか（考えていましたか）。（複数回答可）

考えている職種や就職先	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
専門職（保育士、介護福祉士、栄養士・管理栄養士）	26	30	98	2	156	46	30	40	40	156
民間企業・団体	6	53	25	55	139	28	34	38	39	139
公務員（国家・地方）	19	34	18	14	85	31	20	20	14	85
企業（ベンチャー）	1	11	12	19	43	8	13	15	7	43
教育・研究機関	18	9	2	7	36	15	7	7	7	36
自由業	2	3	0	3	8	5	1	0	2	8
自営業	0	1	2	1	4	2	1	1	0	4
フリーター	0	2	1	1	4	0	1	0	3	4
その他…	1	6	1	3	11	2	3	3	3	11
	73	149	159	105	486	137	110	124	115	486

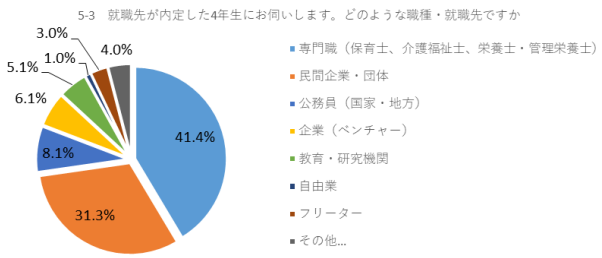
◆その他回答：インストラクター/分からない/具体的には決めていない/決まっていない/社会福祉士精神保健福祉士/事務職/児童福祉/児童指導員/1年だけ働いて移動予定/事務/未定



5-3　就職先が内定した4年生にお伺いします。どのような職種・就職先ですか

内定先の職種や就職先	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
専門職（保育士、介護福祉士、栄養士・管理栄養士）	10	6	24	1	41	2	0	2	37	41
民間企業・団体	2	7	2	20	31	0	0	1	30	31
公務員（国家・地方）	6	0	1	1	8	0	0	0	8	8
企業（ベンチャー）	0	2	1	3	6	0	0	1	5	6
教育・研究機関	5	0	0	0	5	1	0	0	4	5
自由業	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1
フリーター	0	0	1	2	3	0	0	0	3	3
その他…	1	1	0	2	4	0	0	0	4	4
自営業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25	16	29	29	99	3	0	4	92	99

◆その他回答：航空業界/事務/児童福祉業/法人



6．学内施設・部署等への要望

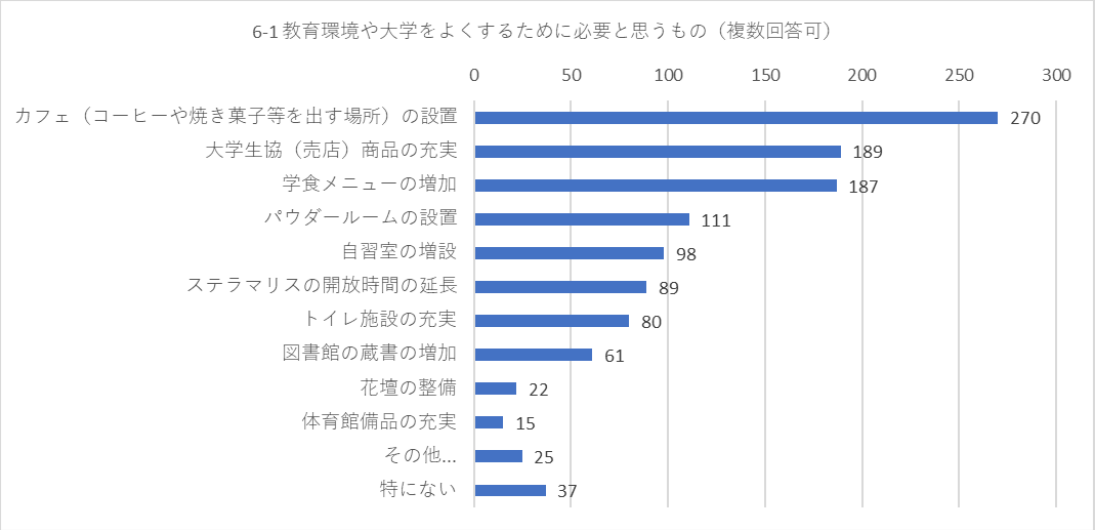
1）教育環境や大学生活

教育環境や大学生活をよくするために必要なもの（複数回答）は、「カフェの設置」（270 件）が最も多く、続いて「大学生協（売店）商品の充実」（189 件）、「学食メニューの増加」（187 件）があげられ（6-1）、この 3 項目は 2022 年度と同様であった。

6-1　教育環境や大学生活をよくするために必要と思うものを選んでください。（複数回答可）

教育環境や大学生活をよくするために必要なもの	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
カフェ（コーヒーや焼き菓子等を出す場所）の設置	33	83	88	66	270	75	61	69	65	270
大学生協（売店）商品の充実	38	55	57	39	189	54	40	46	49	189
学食メニューの増加	37	53	60	37	187	61	40	43	43	187
パウダールームの設置	19	37	30	25	111	31	33	21	26	111
自習室の増設	11	35	39	13	98	18	24	28	28	98
ステラマリスの開放時間の延長	20	35	18	16	89	25	18	24	22	89
トイレ施設の充実	12	32	18	18	80	23	19	18	20	80
図書館の蔵書の増加	14	29	12	6	61	10	13	11	27	61
花壇の整備	3	12	6	1	22	7	5	4	6	22
体育館備品の充実	4	4	5	2	15	4	5	4	2	15
その他…	3	9	6	7	25	4	4	10	7	25
特にない	3	9	15	10	37	4	8	10	15	37
	197	393	354	240	1184	316	270	288	310	1184

◆その他回答：睡眠が取れる場所が欲しい/1人になれる空間をもっと増やす/スクールバス（一限に合わせた時間を遅くする）、増便/昼食が食べられる場所を増やして欲しい/喫煙所/おにぎりとか、パンのような軽く食べられるものも提供してほしい。店舗も生協も品揃えが薄い。大学らしいところにしてほしい。インスタ映えしそうなおしゃれなことろがあってほしい。/売店の安さを求める　/低カロリーサラダ付のメニュー/スクールバスの時間やバス停を増やす/学食の値段をもう少し下げる/ATM設置/図書館の営業時間の延長/大学生協の商品の大幅値下げ/ネット設備/仮眠室/中庭が寂しい。/学内の駐車場/泉中央駅までの近さ/コンビニをいれてほしい/どれも要らないから不要なものを削除して学費を減らすべき/バスを増やす/安い学食/交通の便の改善/電子レンジ、給湯室の増設、1人用の自習室、仮眠室、トレーニングルーム/労働の対価に学費が免除される施設



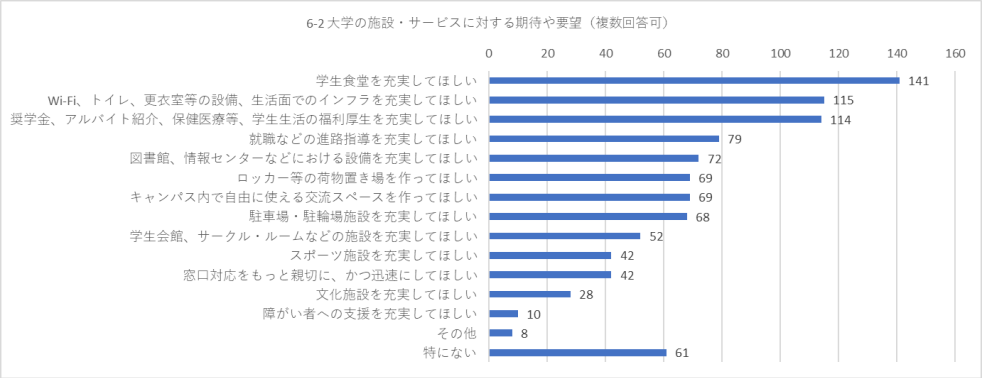
2）施設・サービス

大学の施設・サービスに対する期待や要望（複数回答）では、「学生食堂の充実」（141 件）、「生活面でのインフラ（Wi-Fi、トイレ、更衣室等の設備）の充実」（115 件）、「学生生活の福利厚生（奨学金、アルバイト紹介、保健医療）の充実」（114 件）が上位 3 位を占めた（6-2）。

6-2　大学の施設・サービスに対する期待や要望にはどのようなものがありますか（複数回答可）

大学の施設・サービスに対する期待や要望	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
学生食堂を充実してほしい	27	37	49	28	141	34	34	29	44	141
Wi-Fi、トイレ、更衣室等の設備、生活面でのインフラを充実してほしい	18	47	27	23	115	37	28	24	26	115
奨学金、アルバイト紹介、保健医療等、学生生活の福利厚生を充実してほしい	16	45	33	20	114	26	28	31	29	114
就職などの進路指導を充実してほしい	6	34	11	28	79	16	20	21	22	79
図書館、情報センターなどにおける設備を充実してほしい	8	30	17	17	72	13	17	15	27	72
ロッカー等の荷物置き場を作ってほしい	13	19	21	16	69	25	16	20	8	69
キャンパス内で自由に使える交流スペースを作ってほしい	10	33	13	13	69	21	16	15	17	69
駐車場・駐輪場施設を充実してほしい	9	17	22	20	68	15	14	20	19	68
学生会館、サークル・ルームなどの施設を充実してほしい	5	20	14	13	52	16	14	6	16	52
スポーツ施設を充実してほしい	7	9	17	9	42	13	8	9	12	42
窓口対応をもっと親切に、かつ迅速にしてほしい	6	19	10	7	42	10	4	11	17	42
文化施設を充実してほしい	3	14	5	6	28	5	9	6	8	28
障がい者への支援を充実してほしい	2	7	1	0	10	2	2	3	3	10
その他	0	5	0	3	8	0	2	4	2	8
特にない	8	18	19	16	61	18	7	13	23	61
	138	354	259	219	970	251	219	227	273	970

◆その他回答：/公欠を認めてほしい。インフルエンザや風邪によくかかるので学校をたくさん休んでしまう。/建物の中が自然光が入らないで暗いイメージがあるから明るくしてほしい。４号館がトイレの匂いが漏れきてたり、寒い。人目をきにせず一人になれる閉塞的な場所がほしい。記念館は暖房をつけても冬寒いので、別にほしい。/たまに音姫が使えないトイレがあるので定期的に点検してほしい/就職関係のセミナーの申し込みをオンライン上でできるようにしてほしいです。窓口でしか応募できないのがとても不便で困っています。/端っこでいいので喫煙所を作って欲しい/駐車場欲しいです/5号館の女子トイレ内にある車椅子トイレにも音姫を設置してほしい/国家試験の対策を充実して欲しい

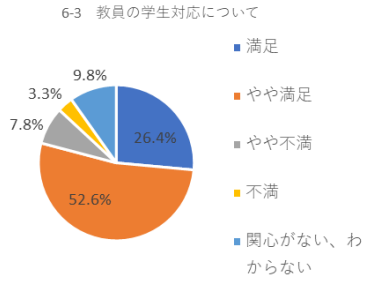


3）教員の学生対応

教員の学生対応については、「満足」（26.4%）と「やや満足」（52.6%）を合わせると約 8 割となった（6-3）ものの、改善の要望（6-4、自由記述）には、「学生に対する態度」が不適切な教員の言動を指摘し、改めることを要求する意見が多く寄せられた。また、「連絡」の遅さや不備への指摘もあった。教員それぞれが自身の言動を顧みて、該当する場合は早急に改める必要がある。

6-3　教員の学生対応について

教員の学生対応に対する満足度	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
満足	15	32	26	32	105	32	16	21	36	105
やや満足	31	70	66	42	209	58	43	58	50	209
やや不満	2	7	15	7	31	3	7	5	16	31
不満	1	2	8	2	13	3	1	7	2	13
関心がない、わからない	8	9	10	12	39	9	9	10	11	39
合計	57	120	125	95	397	105	76	101	115	397

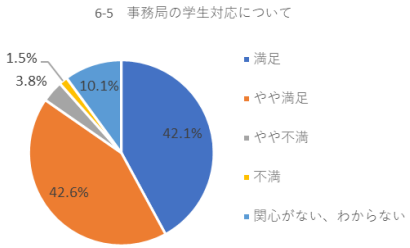


4）事務局の学生対応

事務局の学生対応については、「満足」（42.1%）と「やや満足」（42.6%）となり、教員の対応より、満足度が高いことがうかがえた（6-5）。しかしながら、改善の要望（6-6、自由記述）には、厳しい意見も寄せられた。教員同様、早急に改めていく必要があろう。

6-5　事務局の学生対応について

事務局の学生対応に対する満足度	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
満足	15	46	58	48	167	50	39	37	41	167
やや満足	28	58	51	32	169	40	29	47	53	169
やや不満	3	4	4	4	15	2		7	6	15
不満	1	2		3	6	1		1	4	6
関心がない、わからない	10	10	12	8	40	12	8	9	11	40
合計	57	120	125	95	397	105	76	101	115	397



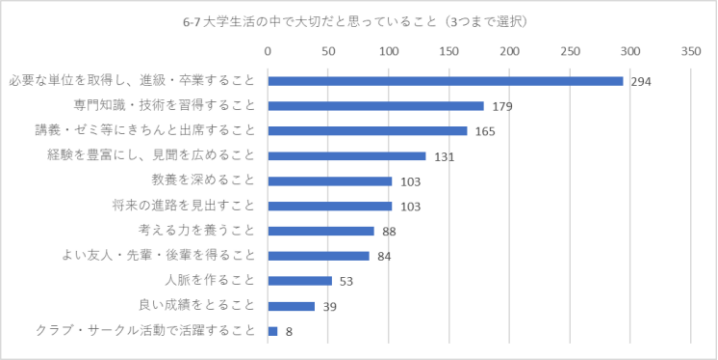
5）大学生活の中で大切なこと

大学生活の中で大切だと思っていること（3つまで選択）については、「必要な単位を取得し、進級・卒業すること」が294件で最も多く、続いて「専門知識・技術を習得すること」（179件）、「講義・ゼミ等にきちんと出席すること」（165件）があげられ、学業を重視していることがうかがわれた。

6-7　大学生活の中で大切だと思っていることはなんですか（3つまで選択）

大学生活の中で大切だと思っていること	子・発	心理福祉	健康栄養	GS	学科計	1年	2年	3年	4年	学年計
必要な単位を取得し、進級・卒業すること	43	91	95	64	294	82	49	83	79	294
専門知識・技術を習得すること	24	53	81	21	179	54	29	35	61	179
講義・ゼミ等にきちんと出席すること	24	53	50	38	165	43	33	44	45	165
経験を豊富にし、見聞を広めること	18	43	33	37	131	29	30	30	42	131
教養を深めること	19	36	19	29	103	33	20	23	27	103
将来の進路を見出すこと	13	35	28	27	103	33	22	29	19	103
考える力を養うこと	11	26	35	16	88	21	21	17	29	88
よい友人・先輩・後輩を得ること	13	30	22	19	84	22	11	19	32	84
人脈を作ること	6	22	12	13	53	19	12	10	12	53
良い成績をとること	5	15	12	7	39	14	10	6	9	39
クラブ・サークル活動で活躍すること	3	4	1	0	8	3	1	1	3	8
	179	409	388	271	1247	353	238	297	359	1247

◆その他回答：卒業すること



7）大学生活をよりよくするための要望・意見

最後に、大学生活をより良くするための要望・意見を自由記述で回答してもらったが、既述の「大学の環境」、「授業・学生指導・教職員」に関する内容が多かったのは、2022 年度と同様であった。また、「学生活動」「交通手段」についても要望が寄せられた（6-8、自由記述）。

学生に充実した学生生活を過ごしてもらうためには、教職員が学生や各部署の情報を共有して連携して、必要なときに必要な支援を行っていくことが重要であろう。

おわりに

本学の学生生活実態調査は、第 1 回目が 2014 年度、第 2 回目が 2019 年度に行われ、第 3 回目の 2022 年度からは毎年度行うこととなり、この報告書は第 4 回目の 2023 年度の調査結果をとりまとめたものである。

回収率は、調査の概要で報告したとおり、49.9%で学生の半数に満たなかったが、2022 年度より Web による調査となり、回答はしやすくなった一方、アンケート調査の依頼を見落としたり、回答をし忘れたりするケースもあり、学生課が複数回にわたって働きかけ、何とか半数程度まで回収率を上げたものである。他大学でも昨今はこのような調査の場合、回収率は 20%～40%程度に留まっているところが多いことを鑑みれば、本学は健闘したと言えるが、より正確に学生の実態や意見を集約し、今後の学生支援に活かすためには、実施方法や回答依頼の働きかけについて、引き続き検討していく必要がある。

2022 年度までは、新型コロナウイルス感染症対策のため授業や学生活動にさまざまな制約があったが、2023 年度からは対面授業が基本となり、少しずつコロナ禍以前の学生生活が戻ってきた。しかしながら、社会環境の変化により経済的支援や精神的支援を必要とする学生が増えてきた様子が、本学の調査結果にも表れていることが気にかかる。

最後に、本調査に協力してくれた本学学生の皆さんに御礼を申し上げるとともに、調査データを分析してくれた学生課の職員の皆様に御礼申し上げる。本報告書が仙台白百合女子大学の教育と学生支援に活用され、よりよい大学運営と充実した学生生活の支援に役立てていただければ幸いである。

2024 年 3 月
仙台白百合女子大学
学生委員会